



2026年7月21日

各位

|        |               |
|--------|---------------|
| 会社名    | 株式会社タムラ製作所    |
| 代表者名   | 代表取締役社長 中村 充孝 |
| (コード番号 | 6768 東証プライム)  |
| 問合せ先   | 経営管理本部長 大石 光明 |
| TEL    | 050-3664-0515 |

### EMG Power Electric S.r.l.の株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

株式会社タムラ製作所（本社：東京都練馬区、代表取締役社長：中村 充孝、以下、「当社」）は、当社の連結子会社である TAMURA-EUROPE LIMITED を通じ、EMG Power Electric S.r.l.（以下、「EMG 社」）の株式を取得して（以下、「本株式取得」）連結子会社化することを決定し、株式譲渡契約を締結しましたのでお知らせします。

## 記

### 1. 株式取得の目的

当社は、第14次中期経営計画「One TAMURA for Next 100」において、再生可能エネルギー、電力インフラ、ヘビーインダストリー、次世代通信、モビリティを含むクリーンエネルギー関連市場を注力市場と位置付けています。電子部品事業では、大型トランス・リアクタを戦略製品の一つとし、再生可能エネルギー、電力変換システム、PDU（電源分配ユニット）やUPS（無停電電源装置）などの重要な電力インフラ分野で強固な市場基盤を確立しています。足元では、生成AIの普及等を背景としたデータセンターの急速な増加や、電力需要の高度化・拡大、中電圧（Medium Voltage、以下、「MV」）配電の普及拡大により、北米をはじめとする高成長市場において、世界的な事業機会が拡大しています。

EMG社はイタリアに本拠を置くトランスおよびリアクタの設計・製造を行う企業です。MV乾式トランス分野で、真空加圧含浸（VPI）方式およびモールドトランス技術等の高い技術力を有するとともに、高度な電力変換用途に対応するリアクタ技術を強みとしており、鉄道、再生可能エネルギー、バッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）、船舶、産業用電源、電力変換分野および基幹インフラ分野において、豊富な実績を有しています。EMG社の設計から製造までの一貫体制および顧客仕様への柔軟な対応力および高い技術力により、当社のMV領域の一層の強化が見込まれます。

本株式取得で、EMG社は当社グループのMV乾式トランス技術の中核拠点と位置付けられ、当社グループ各拠点に対する設計開発、製造技術および技術移転を担う予定です。当社グループが日本、欧州、米国、メキシコ、中国およびマレーシアに有する事業基盤と、EMG社の技術力を融合することで、製品開発、製造、および顧客対応の柔軟性を高めてまいります。

MV領域の高付加価値市場における競争力の強化および技術基盤の拡充は、当社の中長期的な企業価値向上に資するものと考えています。生産能力の拡大に加え、相互補完的な技術力の融合により、当社の技術基盤のさらなる強化を図ってまいります。

## 2. 異動する対象会社（EMG 社）の概要

|     |                                  |                                                      |              |              |
|-----|----------------------------------|------------------------------------------------------|--------------|--------------|
| (1) | 名称                               | EMG Power Electric S.r.l.                            |              |              |
| (2) | 所在地                              | Località Pianacci, 2/A, 52011 Bibbiena (AR), Italy   |              |              |
| (3) | 代表者の役職・氏名                        | Chairman of the board of directors: Filippo Galastri |              |              |
| (4) | 事業内容                             | 大型トランス、リアクトルの開発・設計・製造                                |              |              |
| (5) | 資本金                              | 100 千ユーロ（2024 年 12 月 31 日時点）                         |              |              |
| (6) | 設立年月日                            | 2014 年 1 月 15 日                                      |              |              |
| (7) | 大株主および<br>持株比率                   | 個人株主 2 名 100%                                        |              |              |
| (8) | 上場会社と当該会社<br>との間の関係              | 資本関係                                                 | 該当事項はありません   |              |
|     |                                  | 人的関係                                                 | 該当事項はありません   |              |
|     |                                  | 取引関係                                                 | 該当事項はありません   |              |
| (9) | 当該会社の 3 年間の経営成績および財政状態※（単位：千ユーロ） |                                                      |              |              |
|     | 決算期                              | 2022 年 12 月期                                         | 2023 年 12 月期 | 2024 年 12 月期 |
|     | 純資産                              | 4,964                                                | 8,759        | 11,887       |
|     | 総資産                              | 16,197                                               | 22,023       | 22,175       |
|     | 売上高                              | 26,426                                               | 25,409       | 27,170       |
|     | 営業利益                             | 5,633                                                | 7,474        | 6,230        |
|     | 税引前当期純利益                         | 6,527                                                | 7,208        | 6,458        |
|     | 当期純利益                            | 4,028                                                | 5,195        | 4,628        |

※. 直前事業年度（2025 年 12 月期）は確定前であるため、前年事業年度（2024 年 12 月期）の実績から記載しています。

## 3. 株式を取得する相手先の概要

|                   |                                            |
|-------------------|--------------------------------------------|
| (1) 氏名            | 個人株主 2 名                                   |
| (2) 住所            | Arezzo, Italy                              |
| (3) 上場会社と当該個人との関係 | 資本関係、人的関係、取引関係はありません。<br>また、関連当事者にも該当しません。 |

#### 4. 取得株式数、取得価格および取得前後の所有株式の状況

|               |                                                                     |
|---------------|---------------------------------------------------------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0 株                                                                 |
| (2) 取得株式数     | 120,000 株                                                           |
| (3) 取得価額      | 約 95 億円<br>取得価額にはアドバイザリー費用等を含み、また、最終的な取得価額は為替換算レート等により変動する可能性があります。 |
| (4) 異動後の所有株式数 | 120,000 株（議決権所有割合：80%）                                              |
| (5) その他       | 本株式取得における取得資金は、手元資金および借入金で充当予定です。                                   |

#### 5. 日程

|              |                     |
|--------------|---------------------|
| (1) 取締役会決議日※ | 2026 年 6 月 25 日     |
| (2) 契約締結日    | 2026 年 7 月 17 日     |
| (3) 株式取得日    | 2026 年 10 月 1 日（予定） |

※. 本取締役会においては、一定の条件のもと、本買収および本買収に係る契約に関する最終的な決定を代表取締役社長に一任する決議をしております。

#### 6. 今後の見通し

当社業績に与える影響については現在精査中であり、今後開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせします。

以上

# 技術成長に向けた戦略的投資

TAMURA CORPORATION

×

EMG POWER ELECTRIC

— 従来より高電圧・大容量の技術獲得による  
ソリューション拡大とグローバル事業基盤の強化



株式会社タムラ製作所  
2026年7月21日

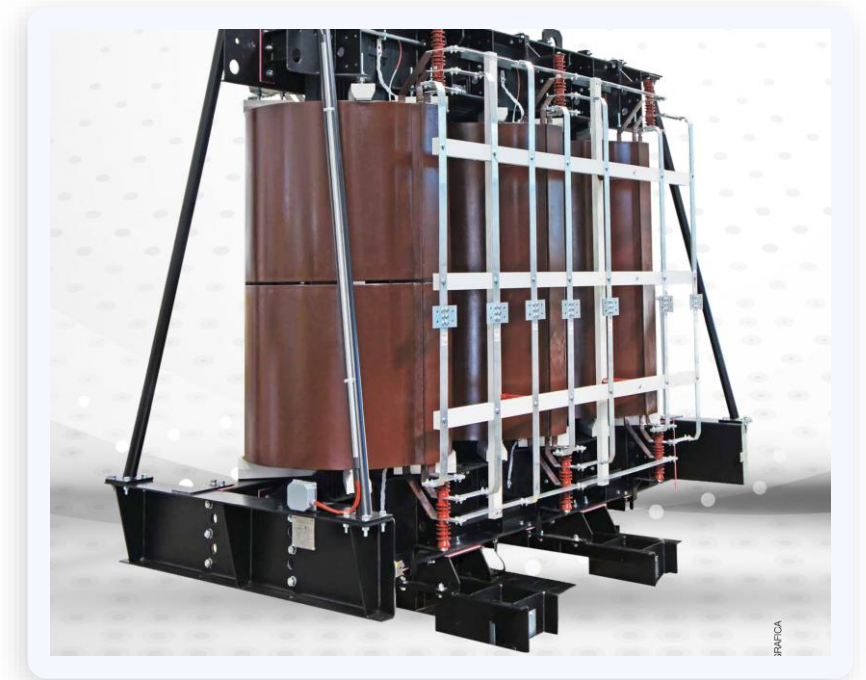
# TAMURA CORPORATION



# EMG POWER ELECTRIC

## 単なる買収を超えた 技術革新に向けた飛躍

タムラはモールドトランス技術を獲得し、鉄道、船舶、再生可能エネルギー、さらに成長著しいデータセンター市場における中電圧ソリューションを強化して、欧州、米州、アジアでのグローバルな事業成長を加速します。



# 電源部品メーカーから総合電力ソリューション企業へ

TODAY

低電圧向け電源部品



TOMORROW

中電圧分野まで含めた総合電力プラットフォーム

モールドトランス・VPIトランス・大容量リアクタ・電力変換ソリューション

## + CAPACITY

生産能力拡大 — 旺盛な需要を取り込み、メキシコ工場の生産能力を2027年度までに約4倍※へ

※2023年度比

## + CAPABILITY

技術・製品力強化 — 新たにモールドトランス技術を獲得するとともに、既存の中電圧・VPI技術をさらに強化

## 中電圧製品ラインアップを拡充 ― 新たにモールドトランス技術を獲得

### モールドトランス

NEW

エポキシ樹脂で絶縁したボイドレス巻線構造を採用。船舶・鉄道・産業用途などの厳しい環境に対応する、高い信頼性と低メンテナンス性を実現

### VPI技術

EXPANDED

従来から保有する真空含浸（VPI）技術をベースに、より高出力・大容量領域へ拡大



鉄道

車両用電源・駆動システム向け



船舶

船舶搭載システム向け



再生可能エネルギー

風力・太陽光・グリッド向け



データセンター

AIデータセンター向け  
AI需要がけん引する成長市場

# EMGの概要・強み

## トランス・リアクタの技術専門メーカー

### 会社概要

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 対象会社 | EMG Power Electric S.r.l. |
| 所在地  | 本社・工場：イタリア 営業所・R&D：スイス    |
| 設立   | 2014年1月                   |
| 取得比率 | 80%（経営陣が20%を継続保有）         |
| 主な事業 | 大型トランス・リアクタの開発・設計・製造      |

### 強み・特長

#### ① 高度な要素・設計技術

モールドトランスやVPI等の要素技術を内製し、中電圧・大容量製品を設計・製造

#### ② 幅広い用途実績

産業・インフラ・船舶・鉄道・再エネ分野で豊富な納入実績

#### ③ 確かな品質・認証基盤

ISO9001、UL、各船級認証に対応した品質・認証基盤を保有

### 製品ラインナップ



船舶用トランス



水冷式リアクタ



モールドトランス



鉄道車両用トランス

※ 準拠規格：IEC／ANSI／NMX 等

# 狙い①：高度な技術ソリューションの提供

中電圧・大容量技術の獲得によるソリューション領域の拡大

## 中電圧・大容量技術の獲得 — 技術基盤の強化

EMG

### EMGの強み・実績

- ・ 中電圧・大容量トランスに強み
- ・ 産業・インフラ・鉄道・再エネで豊富な実績



タムラ

### タムラの強み・実績

- ・ 2010年から大型トランス・リアクタ事業に参入
- ・ 再エネ市場を中心に欧州主要メーカーで採用

両社の技術・知見を融合

## 製品・ソリューションの拡充 — 提案できる領域を拡大



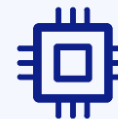
### 製品ラインアップ拡充

中電圧・大容量領域を追加



### 省エネ・高効率な電力ソリューション提供

AIデータセンター（AIDC）等の電力需要に対応



### 次世代製品（SST等）

中周波・高周波トランスを強化

※ 次世代製品（SST等）は、両社の技術シナジーによる将来の開発強化を見込む

## 狙い②：グローバルプレゼンスの向上

補完関係とグローバルフットプリントの活用により、販売機会を拡大・市場展開を強化

### 相互拡販 — 市場を相互に拡大

得意市場・顧客が重複せず、相互の製品展開で新市場を開拓

タムラ

#### タムラの顧客基盤

再エネ・データセンター・産業機械 など



相互に製品を持ち込み拡販

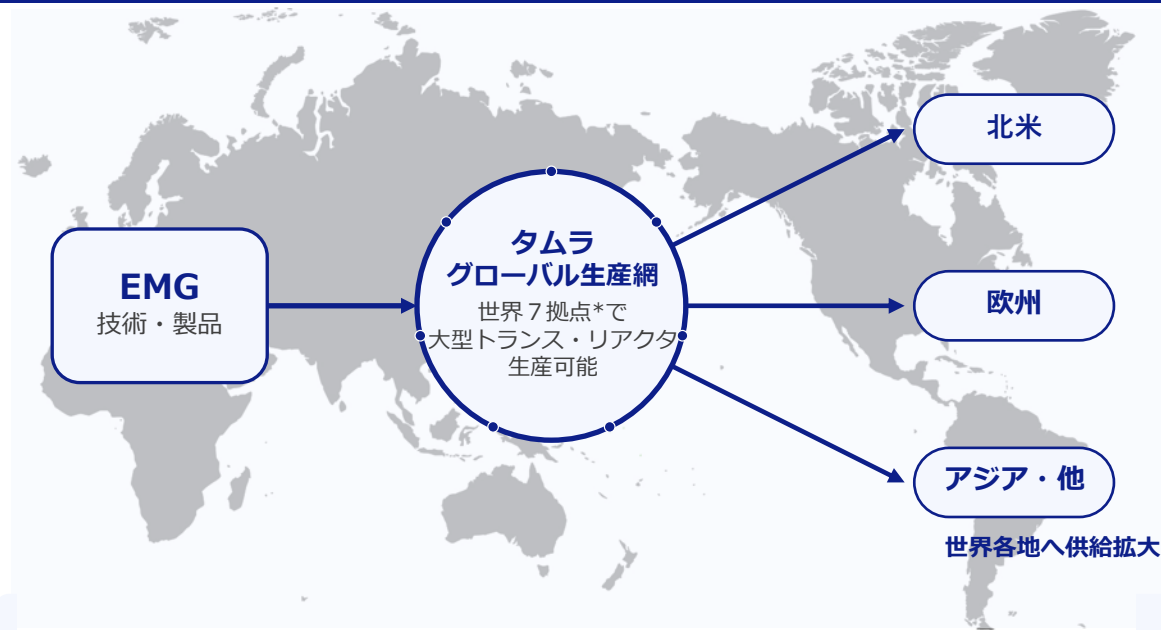
EMG

#### EMGの顧客基盤

鉄道・溶接・船舶・変電 など

▶ 新規獲得の余地が大きい

### タムラフットプリント活用 — グローバルに供給



EMGの技術を、タムラのグローバル生産網に乗せて世界へ供給

#### \*メキシコ工場は、北米AIDCの最前線

- 生成AIの普及で、北米のデータセンター電力需要が急増
- PDU・UPS向け大型トランス・リアクタの引き合いが急拡大

# メキシコ工場増強: AIDC市場シェアのさらなる拡大へ

業務提携からM&Aへ — メキシコ工場を増強し、獲得技術を北米AIDC市場へ展開

## 増強内容 — MV領域大型トランス・リアクタの生産を新設



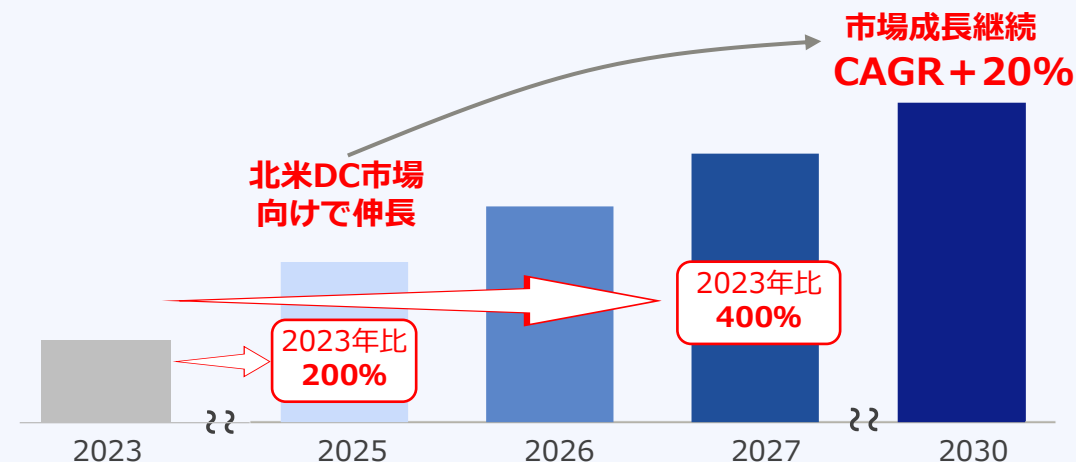
## 増強概要

- **所在地** : メキシコ (ティファナ)
- **投資額** : 約700万USD (建物・生産設備 等)
- **増強内容** : 大型トランス・リアクタ 生産ライン新設
- **生産開始** : 2026年下期 (予定)
- **供給先** : 北米AIDC向けの無停電電源装置 (UPS) ・電力分配装置 (PDU)等

## 事業スケール拡大 — 新市場獲得に向けた戦略的投資

- 1 **2026年4月、EMGと業務提携 → 2026年10月、M&A**  
中電圧・大容量の技術を新たに取り込み、自社技術として確立
- 2 **メキシコ工場にMV領域の新製品を追加、生産能力を倍増**  
2027年度の生産能力を2023年度の4倍に増強
- 3 **北米AIDC市場のシェア拡大**  
既存 (LV) 領域の需要拡大は継続、新規 (MV) 領域の需要を追加獲得

## メキシコ工場 大型トランス・リアクタ 生産能力推移



# ***One TAMURA** for Next **100***

株式会社タムラ製作所

